

解答

問一 A
I エ II イ
慎ましく分り 守ること

武家儀礼

問六 中世の男性たちは自分の存在を誇示し、より大きく見せることを好み、慎ましく膝を閉じる座り方は好まなかつたから。

問七 イ
ア × イ ○ ウ × エ ○

問八

問九

問三 淡間山荘事件の犯人を取り囲んだ警官隊がカップヌードルを食べる姿がテレビのニュースで流れ、人々があこがれて真似をしたから。

問四

問一 ウ
エ イ ウ
ア エ イ ウ

問二

問八 ① 樹立 ② 排優 ③ 觀察 ④ 染「める」 ⑤ 捨「てる」

問三

問四 ① そうち ② さんぱい ③ きりつ ④ わけ ⑤ あやま「り」

問五

問六 ① 恩 ② 機 ③ 割 ④ 芸 ⑤ 底

問七

解説

一

問六

「自分の存在をより大きく見せることを好んだ古代・中世の男性たち」は、「慎ましく膝を閉じた『正坐』の姿勢を好まなかつた」とありますが、江戸時代になると、「自分の武力や政治力の大きさを誇示することよりも、慎ましく分を弁え身を小さく保ちながら、御上に対する忠誠を厳守することが美德とされた」と、座り方に対する考え方の変化が述べられています。

二

問三

「淡間山荘事件」のニュースで「立てこもる犯人を取り囲んだ警官隊が食糧としていたのが、当時発売されたばかりのカップヌードルだつた」「その時テレビを見ていて真似したくなつた人だつて、北斗と似たような気持ちだったのだろう」とあります。